

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月8日
【四半期会計期間】	第40期第3四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	クリエートメディック株式会社
【英訳名】	CREATE MEDIC CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐藤 正浩
【本店の所在の場所】	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号
【電話番号】	(045)943-2611(代表)
【事務連絡者氏名】	財務部長 中山 弘行
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号
【電話番号】	(045)943-2611(代表)
【事務連絡者氏名】	財務部長 中山 弘行
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第39期 第3四半期連結 累計期間	第40期 第3四半期連結 累計期間	第39期
会計期間	自 平成24年 1月1日 至 平成24年 9月30日	自 平成25年 1月1日 至 平成25年 9月30日	自 平成24年 1月1日 至 平成24年 12月31日
売上高(千円)	6,478,824	7,012,652	9,331,915
経常利益(千円)	385,301	506,124	918,497
四半期(当期)純利益(千円)	196,501	285,258	512,271
四半期包括利益又は包括利益(千円)	191,579	717,139	778,315
純資産額(千円)	10,880,327	11,857,587	11,467,615
総資産額(千円)	15,799,926	16,812,306	16,501,019
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	20.43	29.66	53.27
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	68.9	70.5	69.5

回次	第39期 第3四半期連結 会計期間	第40期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成24年 7月1日 至 平成24年 9月30日	自 平成25年 7月1日 至 平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	1.45	1.41

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による大胆な財政・金融政策などを背景にして、円安・株高が進み輸出の増加、企業業績の回復、個人消費動向の改善など景気回復に向けて明るい兆しが見えてまいりました。

当医療機器業界におきましては、医療費抑制を背景にした価格競争は恒常的であり、業界をとりまく環境は依然として厳しい状態が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは、国内販売においては自社ブランド品の販売強化とOEM事業の新規受注増加を図る一方、海外販売では好調な中国での販売拡大に注力いたしました。また、利益面については販売管理費の抑制や海外工場での部資材内製化による原価低減にも努めてまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上・利益は、前年同期と比較して増収増益となりました。

次に売上の概況を販売形態別に報告いたします。

#### < 自社販売 >

自社販売では血管系製品は減少しましたが、泌尿器系製品等その他の系統別製品が売り上げを伸ばした結果、4,657百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

系統別の内訳では、泌尿器系はフォーリートレイキットを含むフォーリーカテーテル、腎盂バルーン、セフティカテ（自己導尿カテーテル）、採尿バッグ等ほぼ全製品で数量を伸ばしました。

消化器系では、胃瘻関連は一部の新製品を除き全般的に伸び悩みましたが、イレウスチューブは関連製品を含め数量は順調に増加しました。

外科系では内視鏡下手術関連製品、内瘻用カテーテル、気管切開チューブが引き続き順調に増加しました。

血管系ではマイクロカテーテルなど全般的に数量が減少しました。

看護・検査系他ではドレープ系製品が減少しましたが、検査用チューブや組織採取用の製品が順調に増加しました。

#### < OEM販売 >

OEM販売では麻酔関連製品が減少しましたが、血管造影関連製品の受注増加や大腸がん3D-CT検査関連製品の新規生産などにより1,287百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

#### < 海外販売等 >

海外販売等ですが、欧州では前年の在庫調整の反動で泌尿器系製品が大きく増加しました。また、中国での販売は全般的に好調でしたが、特にマイクロカテーテルや泌尿器系製品を中心に大きく伸ばしました。その結果、海外販売等の売上は1,067百万円（前年同期比52.0%増）となりました。

また、当第3四半期連結累計期間の製品系統別の売上高は次の通りです。

泌尿器系製品の合計は	1,977百万円（前年同期比15.0%増）となりました。
消化器系製品の合計は	2,334百万円（前年同期比4.8%増）となりました。
外科系製品の合計は	798百万円（前年同期比0.4%減）となりました。
血管系製品の合計は	1,223百万円（前年同期比4.5%増）となりました。
看護・検査系他製品の合計は	678百万円（前年同期比21.8%増）となりました。

利益は大きく増加いたしました。これは自社販売、OEM販売、中国での販売が大きく伸びたこと、販売管理費の抑制と部材内製化による原価低減の寄与、及び円安の影響によるものでございます。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高7,012百万円（前年同期比8.2%増）、売上総利益3,110百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益479百万円（前年同期比22.4%増）、経常利益506百万円（前年同期比31.4%増）、四半期純利益285百万円（前年同期比45.2%増）となりました。

## (2) 財政状態の分析

### （資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して311百万円増加し16,812百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金の減少394百万円に対して、有価証券の増加400百万円、商品及び製品の増加225百万円、ベトナムクリエートメディック有限会社の製造設備の取得による機械装置及び運搬具の増加316百万円が主な要因です。

### （負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して78百万円減少し4,954百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金の減少258百万円に対して、1年内返済予定の長期借入金の増加108百万円、賞与引当金の増加103百万円が主な要因です。

### （純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して389百万円増加し11,857百万円となりました。これは、配当による利益剰余金の減少326百万円に対して、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加285百万円や為替換算調整勘定の増加394百万円が主な要因です。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動の金額は、205百万円となっております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月8日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	9,664,327	9,664,327	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	9,664,327	9,664,327	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	9,664,327	-	1,461,735	-	1,486,022

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 47,700	-	単元株式数100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,606,300	96,063	同上
単元未満株式	普通株式 10,327	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	9,664,327	-	-
総株主の議決権	-	96,606	-

(注)「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式35株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
クリエートメディック株式会社	横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号	47,700	-	47,700	0.49
計	-	47,700	-	47,700	0.49

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,826,337	2,812,924
受取手形及び売掛金	3,503,807	3,109,292
有価証券	709,925	1,110,014
商品及び製品	1,559,006	1,784,786
仕掛品	574,165	623,211
原材料及び貯蔵品	552,251	654,228
繰延税金資産	113,310	159,478
その他	156,462	179,803
貸倒引当金	1,000	1,000
流動資産合計	9,994,266	10,432,739
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,092,423	2,191,074
機械装置及び運搬具(純額)	422,503	739,061
土地	1,485,088	1,485,088
リース資産(純額)	40,720	26,342
建設仮勘定	232,751	30,304
その他(純額)	128,117	148,084
有形固定資産合計	4,401,605	4,619,955
無形固定資産		
借地権	148,270	165,199
その他	28,000	24,670
無形固定資産合計	176,271	189,869
投資その他の資産		
投資有価証券	1,439,700	1,098,946
繰延税金資産	350,790	373,387
その他	138,386	97,407
投資その他の資産合計	1,928,876	1,569,741
固定資産合計	6,506,753	6,379,567
資産合計	16,501,019	16,812,306

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,036,583	778,105
短期借入金	1,045,000	1,045,000
1年内返済予定の長期借入金	86,580	195,500
リース債務	19,206	17,052
未払法人税等	109,282	127,913
賞与引当金	30,803	133,828
役員賞与引当金	12,400	9,300
その他	481,062	425,989
流動負債合計	2,820,917	2,732,689
固定負債		
長期借入金	979,220	933,125
リース債務	23,550	10,607
長期未払金	-	9,175
退職給付引当金	1,022,074	1,068,270
役員退職慰労引当金	184,659	197,820
資産除去債務	2,982	3,031
固定負債合計	2,212,487	2,222,029
負債合計	5,033,404	4,954,719
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,461,735	1,461,735
資本剰余金	1,486,022	1,486,022
利益剰余金	8,527,011	8,485,303
自己株式	34,381	34,581
株主資本合計	11,440,387	11,398,480
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,274	57,077
為替換算調整勘定	7,952	402,030
その他の包括利益累計額合計	27,227	459,107
純資産合計	11,467,615	11,857,587
負債純資産合計	16,501,019	16,812,306

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年 1月 1日 至 平成24年 9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年 1月 1日 至 平成25年 9月30日)
売上高	6,478,824	7,012,652
売上原価	3,465,775	3,901,900
売上総利益	3,013,048	3,110,752
販売費及び一般管理費	2,621,391	2,631,353
営業利益	391,656	479,398
営業外収益		
受取利息	7,321	10,277
受取配当金	1,943	2,273
為替差益	-	11,728
保険金収入	31,949	-
その他	16,642	20,147
営業外収益合計	57,857	44,426
営業外費用		
支払利息	13,369	11,461
手形売却損	150	-
為替差損	45,214	-
金利スワップ評価損	1,138	-
その他	4,339	6,240
営業外費用合計	64,212	17,701
経常利益	385,301	506,124
特別損失		
関係会社出資金評価損	-	51,783
特別損失合計	-	51,783
税金等調整前四半期純利益	385,301	454,340
法人税、住民税及び事業税	218,987	258,441
法人税等調整額	30,187	89,360
法人税等合計	188,800	169,081
少数株主損益調整前四半期純利益	196,501	285,258
四半期純利益	196,501	285,258

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	196,501	285,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	578	37,802
為替換算調整勘定	4,343	394,077
その他の包括利益合計	4,922	431,880
四半期包括利益	191,579	717,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	191,579	717,139
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
(有形固定資産の減価償却方法の変更及び耐用年数の見直し) 当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より有形固定資産の減価償却方法を定額法へ変更しております。 当社グループのグローバル展開の進展を契機に、国内生産設備の稼働状況や今後の見通しについて検討した結果、長期的且つ安定的に稼働し、収益獲得に貢献することが見込まれることから、減価償却方法についてグループの会計方針を統一し、定額法を採用することが適切であると判断いたしました。 また、当社の保有する有形固定資産について使用実態等の調査、検討を行った結果、第1四半期連結会計期間より一部の耐用年数を見直しております。 以上の変更により従来の方と比べて当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ24,398千円増加しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
減価償却費	193,364千円	204,304千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月29日 定時株主総会	普通株式	173,101	18	平成23年12月31日	平成24年3月30日	利益剰余金
平成24年8月6日 取締役会	普通株式	144,250	15	平成24年6月30日	平成24年9月10日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月28日 定時株主総会	普通株式	173,100	18	平成24年12月31日	平成25年3月29日	利益剰余金
平成25年8月5日 取締役会	普通株式	153,865	16	平成25年6月30日	平成25年9月9日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額16円には記念配当1円が含まれております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

当社グループはディスプレイカテーテル・チューブの製造・販売を主な事業とした単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	20円43銭	29円66銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	196,501	285,258
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	196,501	285,258
普通株式の期中平均株式数(株)	9,616,735	9,616,598

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)  
該当事項はありません。

## 2【その他】

第40期(平成25年1月1日から平成25年12月31日まで)中間配当については、平成25年8月5日開催の取締役会において、平成25年6月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次の通り中間配当16円00銭(普通配当15円00銭、記念配当1円00銭)を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 153,865千円

1株当たりの金額 16円00銭(普通配当15円00銭、記念配当1円00銭)

支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成25年9月9日

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月8日

クリエートメディック株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 野島 透 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 柴田 叙男 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているクリエートメディック株式会社の平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、クリエートメディック株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。